

積極的な学力向上対策の実施による  
学力・学習状況の復活

西粟倉村立西粟倉小学校

1 はじめに

本校の児童は落ち着いて学習に取り組むことができませんが、ここ数年、全国学力・学習状況調査で全国平均を下回るなど、学習内容の定着に課題が見られました。

そこで、学校組織全体で共通理解を図りながら、学力向上に取り組みました。

2 取組の概要

(1) 各種調査の活用と定着のための取組

「学力向上に向けた年間計画」に沿い、4月実施の全国・県学力調査の結果分析を受け、前学年の復習・弱点克服と該当学年の復習をした後、12月実施の村学力調査の結果を分析し、更なる復習を行いました。

「個人別・問題別集計表」を活用し、個人のおつまずきの把握と誤答分析を行い、個に応じた指導につなげました。併せて、字数制限や段落制限等の条件作

文にも取り組みながら、児童の主体的な学びを引き出すために、家庭学習での予習・復習も促しました。

学力向上に向けた年間計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通年
全国・県学力・学習状況調査	前学年の復習・弱点克服 問題ア・タ・ヘ	前学年の復習・弱点克服 問題ア・タ・ヘ	全国・県学力・学習状況調査 結果分析	全国・県学力・学習状況調査 結果分析	全国・県学力・学習状況調査 結果分析	Web評価支援システム 問題ア・タ・ヘ	秋子マック	村学力調査(該当年11月まで) 自校採点	村学力調査結果分析	Web評価支援システム 問題ア・タ・ヘ	Web評価支援システム 問題ア・タ・ヘ	校内研究による授業改善
R	P				D							A

(2) 校内研究による授業改善

2年間、「魅力ある授業づくり徹底事業」の指定を受け、指導主事の指導助言や授業改革推進員の指導を積極的に受けました。



公開授業研究会での研究協議の様子



公開授業研究会の様子

校内研究は、研究教科を国語とし、教員全員による「めざす児童像」の共有と一人年1回以上の研究授業の実施、「板書記録一覧」による授業イメージの共有などを行いました。

公開授業研究会では、児童の発言をつなぐこと、学習の見通しをもたせること、ゴールイメージの共有を図ること、単元の目標を踏まえて毎時間の振り返り活動を行うことなど、授業の工夫を提案し実行しました。

(3) ふるさと元気学習

「ふるさと元気学習」では、総合学習の探究の過程(①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現)を大切にしながら、教科での学びを活用する力を育てる授業を行いました。教科の学習と総合的な学習の時間をつなぐカリキュラム・マネジメントも行いました。

3 おわりに

児童の課題を明確にすることで、RPDCAサイクルを機能させ、全国・県・村学力・学習状況調査において、ほとんどの教科・領域に改善傾向が見られました。

今後、子どもたちが「確かな学力」と「生きる力」を身に付けることができるよう、全教職員がめざす方向や方策を共有し、「チーム西小」として教育活動を進めていきたいと思えます。(校長 赤畑さとみ)